

教育委員会事務事業 点検・評価報告書

(令和6年度実績)

令和7年9月

小鹿野町教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度について	・ ・ ・ ・	1
2	令和6年度小鹿野町教育行政重点施策	・ ・ ・ ・	1
3	点検・評価の項目	・ ・ ・ ・	2
4	達成度と評価結果	・ ・ ・ ・	2
5	点検・評価表	・ ・ ・ ・	3

1 教育委員会の点検・評価制度について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられています。

小鹿野町教育委員会では、令和6年度から10年度までを期間とする「第3次小鹿野町教育振興基本計画」を策定し、それに基づき毎年「教育行政重点施策」を策定しています。

今回の報告書は、教育委員会の活動及び令和6年度小鹿野町教育行政重点施策に基づく取組結果を点検し、評価を行ったものです。

2 令和6年度小鹿野町教育行政重点施策

基本目標

〇かがやく未来へ おがの人づくり

目指す子供像

郷土小鹿野に誇りを抱き、
確かな「人間力」を身に付けた子供

※人間力とは、①確かな学力 ②社会性 ③夢に向かう活力 ④心身の健康

目指す町民像

一人一人が生涯にわたって主体的に学び続け、
必要な力を養い、互いに支え合う町民

重点施策と努力点

<学校教育分野>

(1) 確かな学力の育成

- ①小鹿野ベースによる授業改善と授業の充実
- ②おがの自学ノートによる主体的な学びの育成
- ③学校組織体制の工夫・改善

(2) 豊かな心の育成

- ①新たな伝統の創造
- ②ほっとハートキャンペーンの推進
- ③健康の保持・増進

(3) 夢に向かう活力の育成

- ①夢育成プロジェクトの推進
- ②ハートコンタクトプログラムの推進
- ③海外交流事業の計画的・継続的な推進

(4) 小鹿野ならではの教育の推進

- ①ファミリー5ヶ条(おがの家庭教育宣言)の促進
- ②小鹿野未来塾の充実
- ③小鹿野ふるさと学習の発展・進化

(5) 質の高い教育を行う環境の整備・充実

- ①未来へつなぐ望ましい教育環境整備の促進
- ②幼児教育から学校教育への円滑な接続に向けた教育・保育環境の構築
- ③小鹿野高校との連携による地域教育の発展
- ④ICT機器の活用による教育環境整備の充実

<生涯学習分野>

(1) ライフステージに合わせた学習機会の提供

- ①生涯教育の推進
- ②家庭教育・成人教育の推進
- ③人権教育・啓発の推進

(2) 生涯学習推進体制の整備と促進

- ①学習機会の創出
- ②人材の確保
- ③生涯学習施設の維持管理と活用

(3) 生涯スポーツと健康づくりの推進

- ①社会体育施設の維持管理・有効活用
- ②団体・クラブの指導者の育成
- ③スポーツ活動の場と機会の充実

(4) 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用

- ①文化財保護と活用の推進
- ②伝統文化の伝承後継者の育成
- ③文化芸術活動の充実

(5) 情報提供と学びを支える図書館サービスの推進

- ①生涯学習支援サービスの推進
- ②情報提供サービスの充実
- ③子供読書活動の推進

3 点検・評価の項目

N o	点検・評価項目	主担当課
1	教育委員会会議の実施状況	学校教育課
2	教育委員の活動状況	〃
3	学力向上に向けた授業改善	〃
4	主体的な学びの育成	〃
5	教職員の資質向上	〃
6	小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援	〃
7	ハートコンタクトプログラムの推進	〃
8	おがの家庭教育宣言の推進	〃
9	語学力・コミュニケーション能力の育成	〃
10	自他の命と心を大切にする教育の推進	〃
11	健康教育の推進	〃
12	ライフステージに合わせた学習機会の提供	生涯学習課
13	生涯学習推進体制の整備と促進	〃
14	生涯スポーツと健康づくりの推進	〃
15	芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用	〃
16	地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進	学校教育課・生涯学習課
17	図書利用者サービスの充実	生涯学習課
18	図書資料の充実	〃
19	子供読書活動の推進	〃

4 達成度と評価結果

達成度	評価
100%	A 【目標どおりまたは以上】
80%以上100%未満	B 【概ね目標どおり】
60%以上80%未満	C 【目標をやや下回る】
40%以上60%未満	D 【目標を大きく下回る】
40%未満	E 【未実施または再検討】

※達成度：会議の開催回数など、実績値などから目標達成率（ ）内数値を算出し、平均値（下線付き数値）を記載

※評価：上記表の5段階評価を記載

1 教育委員会会議の実施状況				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題	
		<u>100</u>	A	●教育委員会定例会を月に1回開催し、教育委員会事業の報告や教育委員会の承認を要する案件全てについて審議を行った。令和6年度中に104件（議案・報告・協議・諮問）の審議を行った。また、臨時会については案件が無かったため開催しなかった。今後も引き続き適切な審議と会議の運営に努めていく。	
①定例会 <u>月1回</u> <u>年間12回開催</u>	①定例会 <u>12回</u>	(100)			
②臨時会 <u>随時</u>	②臨時会 <u>一回</u> ※開催案件無し	(－)			
2 教育委員の活動状況				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題	
		<u>90</u>	B	●総合教育会議を開催し、第1回会議では小学校統合に係る事業について、統合・閉校記念事業、校歌・校旗作成、バスの運用、各種改修工事等の状況を、第2回会議では令和7年度の教育委員会の主要な事業について、小学校統合後新体制での予定している事業等を町長と情報共有し、意見交換をすることができた。今後もより緊密に連携しながら、効果的に教育施策を推進していく。 ●各小中学校訪問及びおがのこども園見学については、前年度学校内で感染症が流行し、学級閉鎖等が発生した状況を鑑みて実施を取り止めとしたが、令和6年度は予定通り実施することができた。 また、運動会、体育祭及び入学式、卒業式については、小学校統合前最後の実施となったが、盛大に開催され、児童生徒の様子や成長を確認することができた。 ●令和6年度は年間を通して予定されていた行事や会議は、一部遠方の会場について参加できなかったものもあったが、ほとんど出席することができた。教育委員会連合会の役員会、総会は、国・県の連合会については欠席となったものの、秩父地区については出席し議案等に対し適切な審議を行えた。また、教育委員を対象とした県の協議会やその他研修会にも積極的に参加することができた。特に秩父地区教育委員会連合会の研修会では、皆野町が開催地となり、他の教育委員会の動向を確認するとともに、委員同士で交流を深めながら知見を深めることができた。	
①総合教育会議出席 <u>2回</u>	①総合教育会議 (第1回) ・小鹿野町立小学校統合に係る事業について (第2回) ・令和7年度教育委員会の主要な事業等について <u>2回</u>	(100)			
②学校訪問及び学校 行事出席 <u>1回</u> <u>5回</u> <u>10回</u>	・各小中学校訪問及び おがのこども園見学 <u>1回</u> ・運動会及び体育祭 <u>5回</u> ・入学式及び卒業式 <u>10回</u>	(100)			
③町行事及び町外会 議出席 <u>1回</u> <u>1回</u> <u>5回</u> <u>3回</u>	・教職員辞令伝達式 <u>1回</u> ・二十歳の集い <u>1回</u> ・教育委員会連合会会議 <u>3回</u> ・協議会、研修会 <u>2回</u>	(70)			

3 学力向上に向けた授業改善			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>85</u>	B	
①全国学力・学習状況調査の質問項目「授業の内容がよく分かる」の達成状況 <u>100%達成 (5教科平均)</u>	質問項目「授業の内容がよく分かる」に対して「あてはまる」「どちらかと言えば、あてはまる」と答えた児童生徒の割合 (5教科平均) <u>5教科平均 78.2%</u>	(78)		●全国学力・学習状況調査では、「授業の内容がよく分かる」の質問項目に対して、およそ8割の児童生徒が「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答している。小鹿野ベースによる「楽しいから分かる」授業作りを引き続き推進していく。 ●埼玉県学力・学習状況調査では学力の伸びが認められた教科は昨年度を下回る5科目であったが、県全体でも学力の伸びが認められた教科は7科目に留まった。CBTの影響も懸念されるが、引き続き、基礎・基本の定着を課題として学力向上に取り組んでいく。
②県学力・学習状況調査で県と同等以上の学力の伸びを達成する。 <u>伸びが認められた教科数 【県】7教科</u>	伸びが認められた教科数 <u>【町】5教科</u>	(71)		
③授業改善研修会の実施 <u>全12回</u>	授業改善研修会の実施 <u>全13回</u>	(108)		●令和6年度も小鹿野ベースをもとに、授業改善への具体的な取り組みを示して、授業改善研修会を計画通り実施することができた。今後も学力の伸びへ繋がる研修会となるよう研究していく。
4 主体的な学びの育成			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>90</u>	B	
①おがの自学ノートの使用冊数 <u>一人5冊</u>	おがの自学ノートの平均使用冊数 <u>一人4.0冊</u>	(80)		●おがの自学ノートを活用し、子ども達の主体的な学びの育成を図ることができた。平均使用冊数も昨年度比+0.2冊となった。今後も内容について共有化し、質の向上を目指していく。
②おがの自学ノート普及のための取組 <u>全2回</u>	・PTA支部だよりに掲載 ・活用状況調査の実施 <u>全2回</u>	(100)		●おがの自学ノート普及の取組として、PTA支部だよりに活用状況を載せて意識の高揚を図ることができた。また学校に対する働きかけとしては、昨年度に引き続き活用状況調査を実施した。
5 教職員の資質向上			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	
①若手教員研修会の開催 <u>7回</u>	若手教員研修会の開催 <u>7回</u>	(100)		●採用後5年以内の教員を対象とした研修会を予定回数実施することができ、若手教員の資質の向上に努めた。
②特別支援教育研修会の開催 <u>1回</u>	特別支援教育研修会の開催 <u>1回</u>	(100)		●夏季休業中に特別支援学級の担当者を対象とした研修会を開催し、担当教員の資質の向上に努めた。
③教職員対象の夏季研修会の開催 <u>2回</u>	・人権教育研修会 ・ICT活用研修会 <u>2回</u>	(100)		●令和6年度は小鹿野町役場議場にて町内の全教職員を対象に参集型研修会を実施した。埼玉県社会福祉協議会に講師を依頼し、ヤングケアラーに係る人権課題について講演会を実施した。 ICT活用研修会では、ベネッセコーポレーションを講師として、ミライシードの活用研修を実施した。

6 小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題	
		<u>98</u>	B		
①小鹿野未来塾開催 ・英検チャレンジ:6回 ・漢検チャレンジ:5回 ・中学生未来塾:13回 ・小学生科学不思議講座:4回 <u>全28回</u>	小鹿野未来塾開催 ・英検チャレンジ:6回 ・漢検チャレンジ:5回 ・中学生未来塾:13回 ・小学生科学不思議講座:4回 <u>全28回</u>	(100)		●実施計画に従って、開設4講座全てを予定通りに開催することができた。 講座終了後に実施した受講生対象のアンケートでは、「分かりやすかった、参加してよかった」等の満足度の高い結果が得られた。 小学生科学不思議講座の会場は、小鹿野高校との連携を継続していく。	
②検定料助成 英検：102人 漢検：108人 <u>計：210人</u>	英検・漢検検定料助成 英検：70人 漢検：130人 <u>計：200人</u>	(95)		●英検の受験者数は前年度とほぼ同数で、漢検の受験者数は前年度比12%増であった。合格率は英検52.2%、漢検59%である。 受講の募集案内や受験案内の周知方法等を工夫し、保護者、教職員を含めて検定挑戦、親子共学の気運を高めていきたい。	
③未来塾講師配置 <u>32名</u>	未来塾講師配置 <u>32名</u>	(100)		●昨年度に引き続き、地域の方や小鹿野高校から協力いただき、地域人材を十分に活用することができた。 講師の確保に努めるとともに、講師との連携を深め、講座内容の更なる充実を図っていきたい。	
7 ハートコンタクトプログラムの推進				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題	
		<u>100</u>	A		
①「志ファイル」を活用した夢や志の育成 中学校2年生全員に配付 <u>全86名</u>	9年間の成長をまとめるファイルを中学校2年生に配付 令和6年度小鹿野中学校2年生全員に配付 <u>全86名</u>	(100)		●令和6年度も引き続き小学校入学から中学校卒業時までの9年間の活動記録を蓄積した「志ファイル」を生徒全員に配付した。中学校卒業生が自らの成長を確認し、新たな目標に向かう意欲を高めるよう今後も継続して取組んでいく。	
②「おがのことだま百選」による保護者・地域との共学の推進 各小学校1、3、5年生に配付 <u>全166名</u>	「おがのことだま百選」の冊子を配付 各小学校1、3、5年生に配付 <u>全166名</u>	(100)		●取組開始から6年目を迎え、各小学校独自の「暗唱活動評価」を行い、校内だけではなく保護者や地域を巻き込んだ暗唱活動が展開できた。小学校の段階で名言や名文・詩・町の民話等に親しむことで、豊かな心を育てていく。今後も更なる充実に向けて、各学校で創意工夫した取組を進めていく。	
8 おがの家庭教育宣言の推進				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題	
		<u>87</u>	B		
①家庭教育宣言の推進 <u>5校でのPR</u>	家庭教育宣言の推進 <u>PTA支部だよりを5校に配付</u>	(100)		●各学校で具体的な約束を掲げ、ファミリー5カ条について取組み、家庭学習の習慣化の定着を推進した。家庭学習の習慣化の割合は昨年度より6%程向上したが、今後も習慣化の延伸を目指し、周知・啓発を推進していく。親子ともに意識を高め学力向上に繋げていきたい。	
②家庭における学習時間を習慣化する <u>全児童・生徒の90%</u>	家庭学習の習慣化を図る <u>全児童・生徒の66.1%</u>	(73)			

9 語学力・コミュニケーション能力の育成			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>29</u>	E	●卒業時の英検3級取得者割合は減少し目標には届いていない。中学校との連携を推進して、1・2年生の英検の受験者・取得者増加を目指すとともに、3年生で3級以上の取得者増加に繋げていく。 ●先方の都合により、姉妹校提携は次年度への持ち越しとなった。令和7年度内の提携に向け、引き続き調整を進めていく。
①英語検定取得者の増加 <u>中学校卒業時の英検3級取得者40%</u>	英語検定3級取得者の割合 <u>中学校卒業時の英検3級取得者23%</u>	(58)		
②海外交流事業の推進 <u>交流事業実施 年2回</u>	・ALT家族と小学6年生のオンライン交流 ・海外大学生と中学2年生の手紙交換 <u>交流事業実施 年0回</u>	(0)		
10 自他の命と心を大切にする教育の推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	●昨年度に引き続き、夏季休業期間中に町内教職員全員を対象にした人権研修会を開催した。身の回りの人権課題について講義を開催し、教職員の人権意識の高揚・啓発を図ることができた。 ●昨年度に引き続き、ほっとハートキャンペーンの推進により、各学校において特色ある人権教育や道徳教育、また特別活動を実施することができた。埼玉県学力・学習状況調査では全ての学年で目標値を達成すると共に、県平均を上回る事ができた。
①人権教育研修会の開催 <u>教職員対象 1回</u>	・人権教育研修会の開催 <u>教職員対象 1回</u>	(100)		
②埼玉県学力・学習状況調査 「相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉遣いができる」の達成率向上 <u>85%以上達成の学年数 6学年</u>	埼玉県学力・学習状況調査 85%以上を超えた学年数 <u>達成学年数：6学年</u>	(100)		
11 健康教育の推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>125</u>	A	●食育授業を計画的に実施し、児童・生徒に食の重要性について指導を行うことができた。今後も、更に内容の充実を図るとともに、時間の確保を継続していく。 ●年間を通して給食センターだよりを発刊するとともに、食育について掲載をすることができた。今後も掲載内容を工夫しながら食育の意識の高揚を図っていく。
①学校において食育授業実施 ・栄養教諭による食育授業を実施 <u>年5回</u> ・食に関する指導 <u>50時間</u>	・栄養教諭による食育授業を実施 <u>年5回</u> ・食に関する指導 <u>88時間</u>	(100) (176)		
②食育の啓発 ・給食センターだより発刊 <u>11回</u>	・給食センターだより発刊 <u>11回</u>	(100)		

12 ライフステージに合わせた学習機会の提供			《生涯学習課（公民館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		89	B	
①小鹿野ときめき 生活推進大学開催 全8回・延べ360人	小鹿野ときめき生活推進 大学開催 全8回・延べ250人	(69)		●定員45名で募集を行い、38名の申込みがあった。文化関係の内容を中心に開催したが、今後、町の自然や地域振興に関する内容も入れ、幅広い方に興味を持っていただけの講座としたい。
②教養講座開催 ・中央公民館 13講座／全30回 延べ198人	教養講座開催 ・中央公民館 13講座／全30回 延べ164人	(114) (83)		●教養講座（中央公民館）は全講座を予定通り開催することができた。申込みの少ない講座もあったため、新しい内容の講座を開催するなどして、町民のニーズに応えていく。
・両神公民館 17講座／全24回 延べ170人	・両神公民館 16講座／全23回 延べ244人	(144)		●教養講座（両神公民館）は1講座を除き、予定通り開催することができた。郷土料理講座や新規講座が予想以上に賑わった。
・生涯学習講座開催 6講座／全8回 延べ130人	・生涯学習講座開催 8講座／全11回 延べ149人	(115)		●複数回講座を開催することで、リピート参加者が多く、参加者からの満足度も高かった。引き続き参加者のニーズ等を踏まえ、様々な学習機会の提供を行う。
③訪問講座開催 延べ250人	交通安全教室・いきがい 学級開催 延べ306人	(122)		●各地区老人クラブの協力により集会所で開催した。高齢化などにより開催を希望するクラブが減りつつあるが、交通安全教室は10クラブ、いきがい学級は11クラブで実施することができた。
④婚活イベント及び 講習会の開催 延べ70人	婚活イベント 講習会の開催 延べ34人	(49)		●令和6年10月と令和7年3月に婚活イベントを企画したが女性参加者が集まらず中止。女性参加者の集客が課題である。講習会を6回開催した。個人差はあるものの交際・結婚に必要な事柄を学び、力を身につける事ができた。
13 生涯学習推進体制の整備と促進			《生涯学習課（公民館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		88	B	
①小鹿野文化祭の 開催 参加：5日間／24団体	公演・単独・展示部門の 開催 参加：5日間／23団体	(96)		●公演部門12団体、展示部門11団体で開催した。公演部門では、文化センターエントランスで飲食等の販売を行い、1日を通して公演を楽しんでいただく工夫を行った。展示部門では、来場者数が延べ129名となり、昨年より30名程減少してしまった。
②ふる総文化展の 開催 来場者：250名	ふる総文化展の開催 来場者：211名	(84)		●両神ふるさと総合会館内で文化展を開催し、団体の作品や個人作品、調べる学習コンクール、読書感想画コンクールの展示を行った。延べ来場者数は211名と想定を下回った。
③おがの化石館の 来館者数 来館者：8,000名	おがの化石館の来館者数 来館者：6,659名	(83)		●来館者数は、目標に届かなかったが、イベント・講座を開催し、多くの方に利用いただいた。

14 生涯スポーツと健康づくりの推進			《生涯学習課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>77</u>	C	●令和6年度は新規のスポーツ教室を計画し、多くの参加があり盛大に実施することができた。小鹿野ロードレース大会は、マラソン人口の減少や他市町村と日程が重なりはしたが、地元小・中学生が多く参加したことで賑やかに実施することができた。今後は日程調整や若者を中心に新規の参加者を増やしていく必要がある。 ●地区運動会は4団体へ補助し、地域住民の交流が促進された。町外スポーツ団体交流大会は3団体へ補助し、来町者の増加と町内宿泊施設の利用が促進された。
①スポーツ教室開催 10教室	子供ソフトテニス・卓球・バドミントン・カヌー・体操等 8教室	(80)		
②スポーツ大会開催 10種目10大会 総参加者：2,500人	スポーツ大会開催 10種目10大会 総参加者：1,823人	(73)		
③地区運動会等補助 9団体	地区運動会等補助 7団体	(78)		
15 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用			《生涯学習課（公民館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>113</u>	A	●来場者数が昨年度と比べて100名程増加した。また、写真やパッチワークの出展が増え、新鮮な展示内容となった。高齢化や小中学生の生徒減少に伴い、出展数も減少しないよう工夫していく。 ●歌舞伎郷土芸能祭を全国地芝居サミットとして開催したことにより、例年より来場者数が多く、盛大に実施することができた。 ●歌舞伎資料を常設で見学できる施設に整備したことにより、町外や学校利用等の来場者が増え、小鹿野町の地域文化を多くの方にご覧いただいた ●令和5年度から小鹿野町こども郷土芸能士の認定制度を創設し、各団体から多くの子供の推薦があり郷土芸能の継承、普及及び郷土愛の醸成を図ることができた。
①小鹿野美術展開催 総出展数／450点 入場総数／650人	小鹿野美術展開催 総出展数／420点 入場総数／732人	(93) (113)		
②全国地芝居サミットinおがの（歌舞伎・郷土芸能祭）開催 来場者／1,600人	全国地芝居サミットinおがの（歌舞伎・郷土芸能祭）開催 参加者数／延べ1,801人	(113)		
③文化財活用事業の展開 来場者／800人	・小鹿野歌舞伎さろん 来場者／1,081人	(135)		
④小鹿野町こども郷土芸能士の認定 認定者／30人	小鹿野町こども郷土芸能士の認定 認定者／33人	(110)		
16 地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進			《学校教育課・生涯学習課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>93</u>	B	●児童・生徒やその保護者の人権意識の高揚・啓発のため研修会を開催した。今後も保護者への働きかけを積極的に行っていく。 ●家庭教育力向上のため、5講座を開催した。参加者からは好評を得ており、講座の満足度は高かった。参加者からの要望を踏まえ、関心の高い分野の講師発掘や新たな講座の検討に努めていく。
①人権を考える集い (三田川小学校・長若小学校で開催) 児童(5・6年生)・教師 32人	人権研修会の開催 (三田川小学校・長若小学校で開催) 児童(5・6年生)・教師 31人	(97)		
②家庭教育支援事業 5講座 参加者／200人 満足度／90％	家庭教育支援事業の開催 4講座 参加者／150人 満足度／100％	(75) (111)		

③学校応援団への地域協力者の増加 <u>実人数／250人</u>	学校応援団への地域協力者の増加 <u>実人数／225人</u>	(90)		●学習支援・安全見守り・環境整備など多方面に渡り多くの方に協力を得られた。引き続き地域の方々に協力を頂けるように働きかけを継続していく。
17 図書利用者サービスの充実			《生涯学習課（図書館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>91</u>	B	●乳幼児数の減少により、親子連れでの利用者が少なくなっており、貸出者数、貸出冊数への影響が出ている。今後は、大人たちへの読書活動をさらに進めていくとともに、図書館の利用促進を図っていく。
①資料貸出者数の増加 <u>年間7,500人</u>	資料貸出者数 <u>年間6,935人</u>	(92)		
②資料貸出点数の増加 <u>年間貸出数／34,000点</u>	資料貸出点数 <u>年間貸出数／32,157点</u>	(95)		
③図書貸出冊数の増加 <u>年間貸出冊数</u> <u>1人3.0冊</u>	図書貸出冊数 <u>年間貸出冊数</u> <u>1人2.6冊</u>	(87)		
18 図書資料の充実			《生涯学習課（図書館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>99</u>	B	●資料も増加し蔵書の内容も充実してきているが、閉架書庫に収納できていない資料について、蔵書構成を確認したうえで、不用資料の除籍を行っていく必要がある。
①蔵書資料数 <u>資料点数／83,000点</u>	蔵書資料数 <u>資料点数／83,644点</u>	(101)		
②新規受入資料数 <u>資料点数／3,000点</u>	新規受入資料数 <u>資料点数／3,234点</u>	(108)		
③資料の予約・リクエスト件数 <u>件数／2,500件</u>	資料の予約・リクエスト件数 <u>件数／2,165件</u>	(87)		
19 子供読書活動の推進			《生涯学習課（図書館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>85</u>	B	●親子への絵本の紹介や読み聞かせを行った。健診会場での実施のため、健診欠席者への事業実施を検討する必要がある。 ●対象乳幼児数は減少しているが内容を工夫したことにより昨年度より参加者が増加した。 ●調べる学習コンクールは総合的な学習の時間で取り組んだ学校もあったが、応募点数・参加者は減少した。しかし、毎年応募してくれている子どもたちもあり、内容は充実していた。読書感想画コンクールは小学校統合前の影響もあり、応募点数が減少したため、周知方法を検討していく。
①ブックスタート・ブックチャレンジ事業の実施 <u>参加率／対象児95％</u>	ブックスタート・ブックチャレンジ事業 <u>参加率／対象児93％</u>	(98)		
②おはなし会の開催 <u>参加人数120名</u>	おはなし会 <u>参加人数135名</u>	(113)		
③調べる学習地域コンクールの開催 <u>応募点数80点</u> <u>応募参加者100人</u>	調べる学習地域コンクール <u>応募点数70点</u> <u>応募参加者86人</u>	(88) (86)		
④読書感想画コンクールの開催 <u>応募点数50点</u>	読書感想画コンクール <u>応募点数19点</u>	(38)		

